



TOEI ANIMATION
Since 1956

第66期 事業報告書

[平成15年4月1日～平成16年3月31日]

東映アニメーション株式会社



財務ハイライト

業績の推移

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期純利益 (円)	1株当たり配当金 (円)	資本金 (百万円)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	1株当たり純資産 (円)
第64期 H.13.4.1~H.14.3.31	16,031	3,846	1,902	271.75	15.00	2,867	19,437	14,996	2,142.39
第65期 H.14.4.1~H.15.3.31	17,695	4,520	2,132	298.90	30.00	2,867	21,919	16,460	2,345.85
第66期(当期) H.15.4.1~H.16.3.31	16,337	3,217	2,105	295.08	30.00	2,867	23,402	19,224	2,740.69

売上高の推移



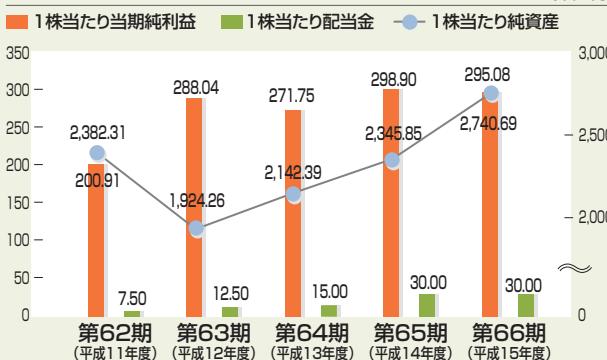
経常利益・当期純利益の推移



総資産・純資産の推移



1株当たり当期純利益・配当金・純資産の推移



株主の皆様へ



代表取締役社長

TAKAHASHI HIROSHI

高橋 浩

代表取締役会長

TOMARI TSUTOMU

泊 慣

真のグローバルアニメーションカンパニーを目指して

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げますとともに、平素のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当社の経営理念は

1. 世界の子どもと人々に「夢」と「希望」を与える"創発企業"となることを、目指す。
 2. 21世紀映像世界の主軸としてのアニメーション業界No.1となることを、目指す。
 3. デジタル画像表現のデファクト・スタンダードの位置づけとなることを、目指す。
- であります。

この経営理念を実現するための当社の経営の基本方針は「より良い企画を立案し、より良い作品に仕上げて、より多くの顧客を引き出し、より多くのビジネスチャンスを生み出していく」ことであります。

そこで当社では「より良い企画を立案し、より良い作品に仕上げる」ために、作品の企画立案から作画、彩色、撮影、録音、編集といった、アニメーション製作の全工程をグループ内に擁しており、また作品製作の要となる優れた人材を確保・育成しています。さらに、最良の作品を製作できる環境を構築するために、製作工程のフルデジタル化の実現や、高速ネットワークの完備など、最新のデジタル技術を他社に先駆けて積極的に導入しています。

また、「より多くの顧客を引き出し、より多くのビジネスチャンスを生み出していく」ために、版権やDVD、ブロードバンド、イベントなどの各種事業を当社自ら展開し、作品のポテンシャルを最大限にまで高めています。さらに、設立当初から海外市場を視野に入っていた当社は、グローバルな視点で作品を企画し、世界各国で事業を展開しています。

これからも当社は、経験と実績をもとに、国際的に通用する高品質のコンテンツを作り続ける力と、蓄積されたコンテンツを活用したビジネス展開力をさらに強化し、真のグローバルアニメーションカンパニーを目指します。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月

当期の概況

当期におけるわが国経済は、設備投資と輸出に支えられ、着実な回復を続けました。

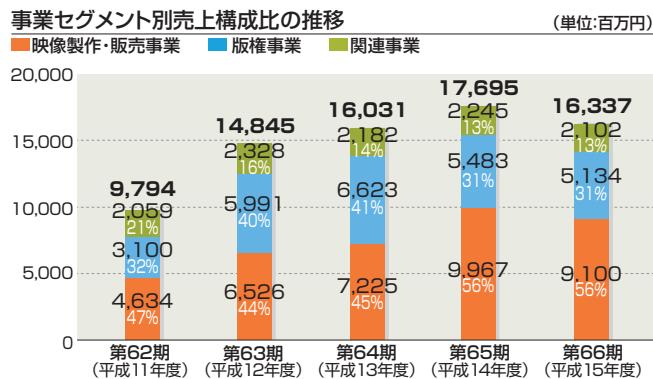
当社を取り巻く事業環境におきましては、DVDなどのデジタルメディアの興隆によりビジネスチャンスは拡大するものの、国内外で受注競争激化などの影響を受け、厳しい状況が続きました。

こうしたなか、当社は国内で「ワンピース」、「ドラゴンボール」、「金色のガッシュベル!!」、

海外で「ドラゴンボール」、「デジモンアドベンチャー」を中心とした映像販売、キャラクターのライセンス許諾などに加え、DVDなどへも戦略的に事業を展開しました。

この結果、当期の売上高は163億37百万円（前期比7.7%減）、経常利益は32億17百万円（前期比28.8%減）、当期純利益は21億5百万円（前期比1.3%減）となりました。

第66期 事業セグメント別売上構成比



映像製作・販売事業

アニメーションを製作し、国内外のTV・劇場・

劇場アニメ部門では、前期同様に年2回劇場作品を公開しましたが、前期の8月公開作品に比べ、当期の2月公開作品の公開館数が少なかつたため減収となりました。

テレビアニメ部門では、製作本数が前期に比べ少なかったため、若干の減収となりました。

海外部門では「デジモンアドベンチャー」、「ドラゴンボール」の売上が減少し、大幅な減収と



「ワンピース
デッドエンドの冒険」
平成15年3月全国東映系公開



「聖闘士星矢 天界編
序奏-overture-」
平成16年2月全国東映系公開



「ふたりはプリキュア」
(日) 朝8:30-9:00
ABC・テレビ朝日系列



「金色のガッシュベル!!」
(日) 朝9:00-9:30
フジテレビ系列



「デジモンフロンティア」
北米
ABC Family



「ドラゴンボールGT」
北米
CARTOON NETWORK

業

ビデオ・DVD等で放映・公開・販売

なりました。

パッケージソフト部門では「スラムダンク」、「ドラゴンボールZ」などのDVDのBOXに加え、「北斗の拳」のレンタルとバラ売りが好調に推移し、大幅に増収となりました。

以上により、当事業の売上高は91億円（前期比8.7%減）となりました。



「スラムダンク」DVD-BOX
平成15年7月発売
19,000セット



「ドラゴンボールZ」DVD-BOX②
平成15年9月発売
31,500セット



「北斗の拳」DVD(全26巻)
レンタル 平均3,500本
バラ売り 平均10,000本

※DVDのセット数は
当会計年度内の販売実績です。

版権事業

キャラクターの使用許諾を、国内外のライセンサー（メーカー等）に与え、
キャラクター商品（玩具・衣類・文具・食品等）を展開

国内では「ワンピース」は減少しましたが、「ドラゴンボール」が大幅に増加し、また「金色のガッシュベル!!」も好調に稼動したことにより、国内全体では増収となりました。海外では「ドラゴンボール」は増収となりましたが、「デジモンア

ドベンチャー」が大幅に減収となり、海外全体では大幅な減収となりました。

以上により、当事業の売上高は51億34百万円（前期比6.3%減）となりました。



「国内商品（ワンピース）」



「国内商品（金色のガッシュベル!!）」



「海外商品（ドラゴンボール）」



「海外商品（デジモンアドベンチャー）」

関連事業

キャラクター商品の販売、キャラクターショー等のイベントの企画・運営、
クリエイター養成機関「アニメーション研究所」の運営

商品販売部門では、「ワンピースショップ」が好調に推移ましたが、全体としてはほぼ横ばいででした。また、イベント部門では国内経済の低迷等の影響により、教育部門では「東映アニメー

ション研究所」の生徒の少数精鋭化を図ったことにより、ともに減収となりました。

以上により、当事業の売上高は21億2百万円（前期比6.4%減）となりました。



「ワンピースショップ」



「明日のナーボイベント」



「東映アニメーション研究所」

デジタル時代の重点施策 [ABCDE計画]

～真のグローバル・アニメーション・カンパニーへ～

現在、アニメーション業界においては、地上波デジタル放送が平成15年12月から開始になるなど、本格的なデジタル時代が到来しています。テレビ放送におけるアニメーション放送枠は増加し、DVDやブロードバンドなどの市場も拡大を続けるなど、産業としての注目度はますます高まっています。

海外では、デジタル時代の到来をうけて多チャンネル化が進展。日本のアニメーションに対する需要の高まりとともに、その評価も非常に高まっています。このように市場が成長・拡大するなかで激化する競争を、当社は独自の強みを活かした戦略を遂行し、デジタル時代の「真のグローバル・アニメーション・カンパニー」を目指します。

東映アニメーションの強み

- 子どもから大人、アクションから恋愛まで、幅広い企画・製作力
- 長い歴史で培った日本最大かつ世界でも有数の映像資産
- フルデジタル製作システムを他社に先駆けて実用化した優位性
- 企画・製作から販売まで行える一貫体制によるビジネス展開力

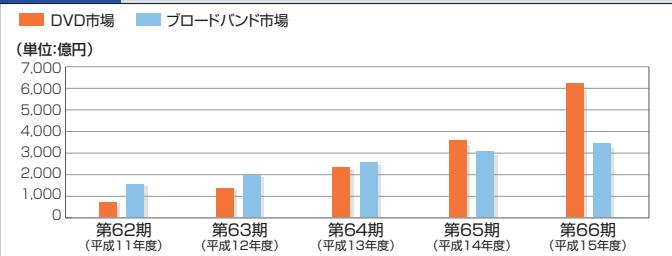


ABCDE計画

- A America** アメリカ市場の深耕
- B Broadband** ブロードバンドビジネスの強化
- C CG** CGIによる表現技法の拡大
- D DVD** DVD収益を基盤としたコンテンツ戦略
- E E-commerce** オンライン販売専門商品の開発

世界で通用する
真のグローバル・
アニメーション・
カンパニーへ

市場動向 グラフに見るデジタルメディア関連市場の成長



出典：(社)日本映像ソフト協会会報、総務省「情報通信政策セッション」報告書

A America

アメリカ市場の深耕

現地法人を設立し 直接ビジネスによる展開力を強化します

アメリカは海外の中でも、日本のアニメーション業界にとって最も重要な市場であり、多くの日本の作品が放送され、厳しい競争が行われています。当社はこれまで以上に、よりきめ細かく、かつ広範囲で効果的な事業展開を直接行うべく、平成16年3月に現地法人「TOEI ANIMATION INCORPORATED」を設立しました。

北米市場

- 多チャンネル
- 多メディア
- デジタル編集

日本製アニメーションの躍進

現地法人を設立



**TOEI ANIMATION
INCORPORATED**

(平成16年3月設立)

間接ビジネスから 直接ビジネスへ

- 現地のTV局やメーカーとの効果的・継続的なビジネス展開
- 市場動向を高精度かつ迅速に把握
- 合作・提携による海外オリジナル作品の製作

北米での主力作品

現在



「DRAGONBALL GT」
CARTOON NETWORK



「DIGIMON: DIGITAL MONSTERS」
ABC Family



「ULTIMATE MUSTLE」
FOX

平成16年度中に
新作を投入予定





Broadband

ブロードバンドビジネスの強化

サービスの強化・拡充

デジタル市場のなかでもDVDに続いて大きな成長が見込めるブロードバンド市場においては、平成16年3月に映像配信サービス「東映アニメBB」をリニューアルするなど、サービスの強化・拡充に取り組んでいます。

エディテイメントコンテンツ



「あそんでどれみ♪」

映像配信サービス



「おジャ魔女シアター♪」

東映アニメBB

「東映アニメBB」

**TOEI
特撮アニメ
ARCHIVES**

「東映特撮アニメ
アーカイブス」

ブロードバンドを起点としたコンテンツ展開

平成14年にブロードバンド用に製作したFLASHアニメーション「銀河鉄道999」を平成15年にはDVDで発売。ブロードバンドからスタートするコンテンツ展開の第1弾として成功を収めました。今後も新作を投入していきます。



FLASHアニメーション
「銀河鉄道999」
平成14年9月サービス開始(全6話)



DVD化
平成15年11月発売(全2巻)
各4,800円

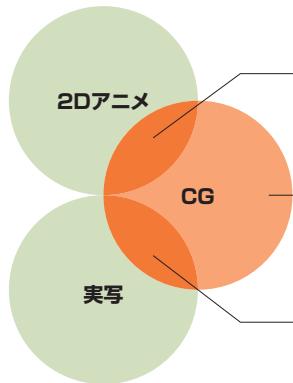


CG

CGによる表現技法の拡大

アニメーション製作会社ならではのCG映像を製作

近年フルCGで製作された劇場作品が大ヒットを記録しています。当社は、これまで主に2Dアニメーション作品にCG映像を取り入れる作品を多く手がけてきましたが、今後は実写とCGの融合や、フルCG作品の製作にも意欲的に取り組んでいきます。



2Dアニメと
CGの融合

「ワンピース」
(日)夜7:30-8:00
フジテレビ系列



フルCG作品

「DIGITAL
MONSTER
X-evolution」(仮)
平成17年公開予定



実写と
CGの融合

「デビルマン」
平成16年秋公開予定



DVD

DVD収益を基盤としたコンテンツ戦略

DVDを主メディアとした新レベルを立ち上げ

DVD市場の拡大により、DVDの収益を主としたコンテンツ展開が可能になりました。そこで平成16年、当社では初となるDVDオリジナルレベル「アニマイスター」と「GA.ニメ」を新たに立ち上げました。

アニマイスター



GA.ニメ



アニマイスター第1弾
「インタールード」(全3巻)
第1巻 平成16年3月発売



GA.ニメ第1弾
「~この支配からの卒業~尾崎 豊」
平成16年4月発売

ボックス売り・レンタル・バラ売りなど多彩な販売戦略

昨年に引き続き好調なライブラリーディスクビジネス。平成16年もコレクション要素の強いDVD-BOX展開に加え、一般層向けにレンタル・バラ売りと多彩な販売戦略を展開していきます。



「ドラゴンボール」DVD-BOX
平成16年7月発売



「銀河鉄道999」DVD レンタル
1~13巻レンタル中
全19巻随时レンタル開始



「キューティーハニー」DVD バラ売り
平成16年4月発売(全3巻)

平成16年度上期 主な発売予定DVDタイトル

- 4月「デビルマン」バラ売り①
- 5月「グレンダイザー」BOX②
- 6月「GU-GUガノモ」BOX①
- 7月「デジモンアドベンチャー」BOX
「キャプテンハーロック」BOX
「マシンガーZ」バラ売り①
- 8月「聖闘士星矢 THE MOVIE」BOX



E-commerce

オンライン販売専用商品の開発

キャラクター商品の開発力を活かして、オンライン販売専用商品などを開発

飛躍的に拡大しているe-コマース市場に向けて、キャラクター商品開発のノウハウを活かしたオンライン販売専用の高付加価値商品を開発。新たな販売チャネルを確立し、ビジネスの拡大を目指します。

キャラクター商品開発力

Webサイト開発・運営ノウハウ

オンライン
販売専用商品
などの開発

キャプテンハーロック仕様の
HDD&DVDビデオレコーダー^①
平成15年12月発売

→連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成16年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部	
科 目	金 額
流動資産	16,221,439
現金及び預金	12,420,826
受取手形及び売掛金	2,756,303
たな卸資産	731,185
繰延税金資産	141,482
その他	189,217
貸倒引当金	△17,574
固定資産	9,697,505
有形固定資産	3,229,939
建物及び構築物	970,209
機械装置及び運搬具	15,070
土地	2,153,114
その他	91,544
無形固定資産	106,843
ソフトウェア	105,699
電話施設利用権	1,143
投資その他の資産	6,360,722
投資有価証券	5,529,754
長期貸付金	280,726
その他	605,261
貸倒引当金	△55,020
資産合計	25,918,945

負債の部	
科 目	金 額
流動負債	3,723,621
支払手形及び買掛金	2,349,664
未払法人税等	268,970
賞与引当金	234,087
その他	870,899
固定負債	916,199
退職給付引当金	642,553
役員退職慰労引当金	157,700
その他	115,945
負債合計	4,639,821
少数株主持分	
少数株主持分	213,388
資本の部	
資本金	2,867,575
資本剰余金	3,409,575
利益剰余金	14,105,399
その他有価証券評価差額金	777,740
為替換算調整勘定	△91,382
自己株式	△3,171
資本合計	21,065,735
負債、少数株主持分及び資本合計	25,918,945

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

Financial Data

連結損益計算書 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	金 額
売上高	17,120,156
売上原価	11,097,386
売上総利益	6,022,770
販売費及び一般管理費	2,567,459
営業利益	3,455,310
営業外収益	229,042
受取利息	11,060
受取配当金	29,075
持分法による投資利益	116,898
貸倒引当金戻入益	55,188
その他	16,819
営業外費用	95,631
支払利息	764
為替差損	89,090
その他	5,776
経常利益	3,588,720
特別損失	10,020
ゴルフ会員権評価損	3,600
貸倒引当金繰入額	6,420
税金等調整前当期純利益	3,578,700
法人税、住民税及び事業税	1,106,298
法人税等調整額	83,435
少数株主利益	51,978
当期純利益	2,336,988

連結剰余金計算書 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	金 額
資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	3,409,575
資本剰余金期末残高	3,409,575
利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	12,026,910
利益剰余金増加高	2,336,988
当期純利益	2,336,988
利益剰余金減少高	258,500
配当金	210,000
役員賞与	48,500
(うち監査役賞与)	(2,600)
利益剰余金期末残高	14,105,399

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,339,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	△746,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210,437
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79,240
現金及び現金同等物の増加額	2,303,559
現金及び現金同等物の期首残高	10,117,267
現金及び現金同等物の期末残高	12,420,826

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

→単体財務諸表

貸借対照表 (平成16年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	15,032,055	流動負債	3,385,459
現金・預金	11,272,980	支払手形	291,683
受取手形	47,503	買掛金	1,987,348
売掛金	2,713,437	未払金	127,036
商品	36,624	未払法人税等	241,134
製作品	201,000	前受金	296,926
仕掛品	403,276	預り金	177,755
貯蔵物品	53,147	賞与引当金	217,688
前払費用	44,141	その他の流動負債	45,887
短期貸付金	64,477		
繰延税金資産	128,332	固定負債	791,949
その他の流動資産	69,757	退職給付引当金	611,227
貸倒引当金	△2,624	役員退職慰労引当金	157,700
	8,370,215	その他の固定負債	23,022
固定資産	3,008,606		
有形固定資産		負債合計	4,177,409
建物	753,895		
構築物	8,550	資本の部	
機械装置	6,688		
工具器具備品	86,357	資本金	2,867,575
土地	2,153,114	資本金	2,867,575
無形固定資産	106,843	資本剰余金	3,409,575
ソフトウェア	105,699	資本準備金	3,409,575
電話施設利用権	1,143	利益剰余金	12,319,399
投資その他の資産	5,254,765	利益準備金	94,500
投資有価証券	4,098,594	任意積立金	2,600,000
子会社株式	193,957	別途積立金	2,600,000
長期貸付金	390,625	当期末処分利益	9,624,899
差入保証金	84,750	株式等評価差額金	628,312
繰延税金資産	32,594		
その他の投資	507,463		
貸倒引当金	△53,220	資本合計	19,224,862
資産合計	23,402,271	負債及び資本合計	23,402,271

- (注) 1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 子会社に対する短期金銭債権 241,336千円
 子会社に対する長期金銭債権 109,899千円
 子会社に対する短期金銭債務 77,540千円
3. 有形固定資産の減価償却累計額 603,588千円
4. 重要なリース資産
 貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している重要な固定資産として、アニメ製作用コンピューター機器、事務用コンピューター機器ならびにその周辺機器があります。
5. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額は628,312千円であります。

Financial Data

損益計算書 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	金 額
経常損益の部	
営業損益の部	
営業収益	16,337,931
売上高	16,337,931
営業費用	13,118,150
売上原価	10,992,540
販売費及び一般管理費	2,125,609
営業利益	3,219,781
営業外損益の部	
営業外収益	79,172
受取利息及び配当金	38,599
雑収入	40,573
営業外費用	80,977
支払利息	109
雑支出	80,867
経常利益	3,217,977
特別損益の部	
特別損失	8,220
ゴルフ会員権評価損	3,600
貸倒引当金繰入額	4,620
税引前当期純利益	3,209,757
法人税、住民税及び事業税	1,047,178
法人税等調整額	56,996
当期純利益	2,105,581
前期繰越利益	7,519,318
当期末処分利益	9,624,899

利益処分 (単位:円)

科 目	金 額
I 当期末処分利益	9,624,899,770
これを次の通り処分いたします。	
II 利益処分額	
利益配当金	210,000,000
1株につき30円	
役員賞与金	40,000,000
(うち監査役賞与金)	(2,600,000)
任意積立金積立額	
別途積立金	300,000,000
合計	550,000,000
III 次期繰越利益	9,074,899,770

(注) 1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 子会社との取引高

 売 上 高 440,899千円

 仕 入 高 635,722千円

 営業取引以外の取引高 3,453千円

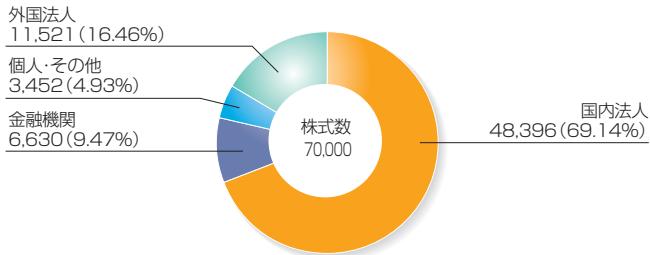
3. 1株当たり当期純利益 295円8銭

→会社概要／株式の状況

株式の状況 (平成16年3月31日現在)

発行済株式総数	7,000,000株
株主数	877名

所有者別状況(百株) (平成16年3月31日現在)



株価・出来高の推移



著作権表示 ©澤井哲夫／集英社・テレビ朝日・電通・東映アニメーション ©ABC・東映アニメーション ©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©雷句誠／小学館・フジテレビ・東映アニメーション ©車田正美／集英社・東映アニメーション ©本郷あきよし・東映アニメーション ©バードスタジオ／集英社・東映アニメーション ©井上雄彦・アイティーブランニング・東映アニメーション ©武論尊・原哲夫／Coamix・東映アニメーション ©ABC・東映アニメーション ©ゆでたまご／集英社・東映アニメーション・テレビ東京 ©ABC・東映アニメーション ©松本零士・東映アニメーション ©本郷あきよし・デジモンCGプロジェクト ©2004「デビルマン」製作委員会 ©ロングショット／NECインターネットチャネル／東映アニメーション／ハピネット・ピクチャーズ ©東映アニメーション ©ダイナミック企画・東映アニメーション ©松本零士・東映アニメーション ©東映アニメーション ©雷句誠／劇場版「金色のガッシュベル!!」製作委員会 ©VisualArt's／Key／東映アニメーション／フロンティアワークス

株式事務のご案内

商 号 東映アニメーション株式会社
証 券 コ ー ド 4816
決 算 期 每年3月31日
定 時 株 主 総 会 每年6月に開催いたします。
基 準 日 每年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
利 益 配 当 金 每年3月31日現在の株主または登録質権者にお支払いいたします。
名 義 書 換 代 理 人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所 T168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(お問い合わせ郵便物送付先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 東京(03)3323-7111(代表)
中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社本店および全国各支店
公 告 方 法 日本経済新聞に掲載いたします。
貸借対照表および
損益計算書掲載の
ホームページアドレス http://www.toei-anim.co.jp/corporate/ir_top.html

お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は
名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

株主優待制度

当社では、株主優待オリジナルのキャラクターQUOカードを進呈しております。

所有株式数	優待内容
100株以上	2,000円相当のキャラクターQUOカード
1,000株以上	6,000円相当のキャラクターQUOカード
5,000株以上	10,000円相当のキャラクターQUOカード
10,000株以上	20,000円相当のキャラクターQUOカード



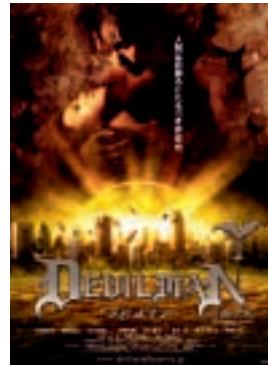
MOVIE LINE UP

東映アニメーション株式会社 劇場公開予定作品



「金色のガッシュベル!! 101番目の魔物」

平成16年8月7日公開



「デビルマン」

平成16年秋公開



「AIR」

平成16年公開



「DIGITAL MONSTER X-evolution」(仮)

平成17年公開